

走れメロス

メロスは激怒した。必ず、かの邪智暴虐の王を除かなければならぬと決意した。メロスには政治がわからぬ。メロスは、村の牧人である。笛を吹き、羊と遊んで暮らして来た。けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。きょう未明メロスは村を出発し、野を越え山越え、十里はなれた此のシラクスの市にやって来た。メロスには父も、母も無い。女房も無い。十六の、内気な妹と二人暮しだ。この妹は、村の或る律儀な一牧人を、近々、花婿として迎える事になっていた。結婚式も間近なのである。メロスは、それゆえ、花嫁の衣装やら祝宴の御馳走やらを買いに、はるばる市にやって来たのだ。先ず、その品々を買い集め、それから都の大路をぶらぶら歩いた。メロスには竹馬の友があつた。セリヌンティウスである。今は此のシラクスの市で、石工をしている。その友を、これから訪ねてみるつもりなのだ。久しく逢わなかつたのだから、訪ねて行くのが楽しみである。歩いていくうちにメロスは、まちの様子を怪しく思った。ひっそりしている。もう既に日も落ちて、まちの暗いのは当りまえだが、けれども、なんだか、夜のせいばかりでは無く、市全体が、やけに寂しい。のんきなメロスも、だんだん不安になって来た。路で逢つた若い衆をつかまえて、何かあつたのか、二年まえに此の市に来たときは、夜でも皆が歌をうたつて、まちは賑やかであつた筈だが、と質問した。若い衆は、首を振つて答えなかつた。しばらく歩いて老爺に逢い、こんどはもつと、語勢を強くして質問

小B6判 羽衣・M 十三級四十二字×十五行 太宰 治「走れメロス」より抜粋

支店移転のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます
さて この度当社は業務の拡張とサービス体制の拡充を目指し
左記住所へオフィスを移転する運びとなりました
全役職員一同 更なるサービス品質の向上に努めてまいりますので
今後とも倍旧のご愛顧とご支援を賜ります様 お願い申し上げます
まずは 略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます

敬具

平成二十〇年〇月吉日

羽衣株式会社

代表取締役社長 羽衣太郎